

令和元年度（2019年度）行政評価シート【個表】

令和元年7月5日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 菅原 良	
共創-15	実施事業	平和推進事業	■ 自治事務	主管課 文化人権課(人権・男女共同参画担当)
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	平和	施策の方針	平和推進事業の充実

1 事業の目的

対象	市民等
意図	平和都市宣言及び市民憲章の精神に基づき、市民の平和意識の醸成を図るとともに基本的な人権に対する考えを定着させるため。
効果	平和について考えるきっかけを多くの市民に提供し、平和を基調にした世界に誇れるまちづくりを図る。

2 平成30年度(2018年度)に実施した事業の概要

市民実行委員とともに映画上映や講演会などの平和推進事業を企画実施した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	29年度(2017年度)決算	30年度(2018年度)決算	データ区分	01年度(2019年度)当初予算	備考
人口等のデータ	人口	176,466人	人口	176,436人	各年3月31日(住民基本台帳)
	世帯数	81,150世帯	世帯数	82,444世帯	
	事業の対象者数		事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	744	当初予算(千円)	987	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他		その他		
	一般財源	744	一般財源	987	
	人員配置数	0.9	人員配置数	0.9	
事業経費運営	人件費(千円)	6,800	人件費(千円)	7,033	
	総事業費(千円)	7,544	総事業費(千円)	8,020	
	市民1人当りの経費(円)	43	市民1人当りの経費(円)	45	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
有効性	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
公平性	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協働	市民等と協働して事業を展開しているか	○-2. 既に市民等と協働して適切に事業を実施している
	協働実施済	協働実施済の場合のパートナー 鎌倉平和推進実行委員会

事業 内容の 方向性	☐ a:事業内容を見直す ☒ b:事業内容は現状通りとする ☐ c:事業を休止又は廃止する ☐ d:他事業と統合し、本事業は廃止する	見 直 し の 種 類	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他	見 直 し の 内 容	
	事業へ統合				
予算 規模の 方向性	☐ A:予算規模を拡大する ☒ B:予算規模は現状維持とする ☐ C:予算規模を縮小する	事業内容・予 算規模の方向 性設定の理由	当該事業への参加市民数は微増したが、若年層の参加促進という課題もある。引き続き魅力ある事業実施に努めるとともに、周知にも力を入れる必要があるため、現状と同等の予算規模が必要だと考える。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	平和都市宣言の精神を広め、後世へ伝えるためには、市民委員との協働により地道な啓発活動を行う現行の事業手法を継続していくことが大切と考える。今後も、幅広い年代層が参加できる企画立案に努めるとともに、啓発的な事業の他、市民が主体的に参加できる事業に取り組んでいく。
-------------------	--

平成30年度(2018年度)事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	・若い世代が多く参加できるような事業を実施する必要がある。事業内容や周知の方法について、引き続き鎌倉平和推進実行委員会とともに検討していく。							
課題解決のために行った平成30年度(2018年度)の取組	・市内小・中学校を対象に実施している「出前講話“平和”」で、戦争体験談だけでなく、国際協力・平和構築活動の話を通して、世界の平和について考えた。							☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・すでに多数の参加がある高齢者世代及び小中学生以外の世代が多く参加できるような事業を実施する必要がある。事業内容や周知の方法について、引き続き鎌倉平和推進実行委員会とともに検討していく。							

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業実施に係る指標

指標の内容	事業への市民参加					単位	人	指標の傾向	↗	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
平和推進事業への参加者を増やすことで、市民の平和意識の醸成を促進するため。	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,500.0			
	実績値	2,749.0	3,309.0	3,303.0	2,841.0	3,515.0				
	達成率	91.6%	110.3%	110.1%	94.7%	117.2%				